

平成28年

目黒区教育委員会

第32回定例会会議録

(平成28年8月30日開催)

第32回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成28年8月30日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会委員長	小村 恵子
	教育委員会委員長職務代理者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	木村 肇
	教育委員会教育長	尾崎 富雄

出席職員	教育次長	関根 義孝
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	増田 武
	学校運営課長	佐藤 欣哉
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	和田 孝
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	濱下 正樹
	八雲中央図書館長	大迫 忠義

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

- 日程第1 議案第30号 平成29年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の採択について
- 日程第2 報告事項 平成28年第3回区議会定例会一般質問通告について
- 日程第3 報告事項 目黒区隣接学校希望入学制度検証委員会の設置について(案)
- 日程第4 報告事項 平成28年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の進め方について(案)
- 日程第5 報告事項 就学前ガイダンスの実施について

資料配布

- ・平成28年度 目黒区立中学校案内
- ・平成28年10月行事予定

(午前9時30分開会)

- 委員長 第32回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は中山委員です。  
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 議案第30号 平成29年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の採択について)

- 説明員 (資料により説明)  
○委員長 この件についてご質問等ございますか。  
特にないようですので採決を行います。  
本件に賛成の委員は挙手願います。

(全員挙手)

- 委員長 全員賛成ですので、議案第30号は原案どおり可決します。  
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成28年第3回区議会定例会一般質問通告について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)  
○委員長 この件についてご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 目黒区隣接学校希望入学制度検証委員会の設置について(案)(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)  
○委員長 この件についてご質問等ございますか。  
○委員 隣接学校の希望入学制度について、さらにいい制度にしていくためには、直さなくてはいけない部分の検証も必要です。利用された方の意見はどこで吸い上げるのでしょうか。  
あと、検証委員会の委員長はどのような職務の方がつかれるので

すか。

○説明員 地域の方も含めて大規模に、26年度にとりましたアンケート結果を一つの基礎資料とした上で論議をしていきたいと考えています。アンケートの中には、この制度を支持する声、課題認識の声、さまざまです。そういったところも含めて客観的に委員の皆様にお諮りをしながら議論を深めていきたいと考えています。

2点目については、先ほど説明が不足しておりましたが、2ページの(4)のところ、委員長は教育次長をもって充てる予定です。

○委員 制度の見直しを、5カ月という短期間でまとめようという場合に、人数が多い組織であれば、意見が拡散してしまうという危惧があります。

○説明員 委員の人数の考え方は、これはさまざまございますけれども、現時点では、各組織からお一人ずつ推薦いただいた上で、全体の意見について集約をいただき、かつ、各町会等も含めた全体にアンケートをとっている中身を生かしながら、さまざまな面の意見について客観的に論議をしていきたいと考えています。

○委員 29年の2月には検証結果を取りまとめるということは、今年度中に見直すかどうかの結論が出るということによろしいですか。

○説明員 2月までに取りまとめをして、見直しをするかどうかの結論を出したい考えでございます。

○委員 隣接の制度は、先に中学校の隣接制度ができて、その後、小学校だったと思いますが、例えば分ける可能性もありますか。中学校の隣接は残るけれども、小学校はしない。小学校は受け入れしているところも減ってきているということもありますし、通学時間や子どもの状況も小学校と中学校で違うかと思えます。

○説明員 おっしゃるように、隣接の枠が減少し、かつ、できない学校が増えているのは、現段階で小学校です。

他区の状況等でも小学校と中学校を分けて制度を運用しているところもありますので、改めて各区の状況、目黒区の独自の状況も踏まえながら、検証委員会の中で論議される見込みです。

○委員長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第4を議題とします。

(日程第4 平成28年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の進め方に

ついて（案）（報告事項）

- 説明員 （資料により説明）
- 委員長 この件についてご質問等ございますか。
- 委員 確認ですが、各中学校区ごとで参加人数や形態が違います。例えば、意見交流会での結果を全体会で還元することは行うのでしょうか。
- 説明員 参加人数につきましては、可能な限り参加する学年全員が、それぞれの校区で集まって話し合いができるようお願いしていますが、実際には何校区か、代表の児童・生徒で意見交流会を行ったところがあります。今年度も各学校に、学年全員の参加を促していきたいと思っています。
- 全体の流れですけれども、全体会を意見交流会で挟み、意見交流会での結果を全体会で還元する流れにつきましては、これはどの学校区でも実施したいと考えています
- 委員 平成24年度まで地域やPTAの人たちが出席していたのを、子どもたちが本音を言えるようにということで、一時除外したという経緯がありました。
- 今回、校長先生が認めた方たちに参加いただくということで、会議の進め方が参加者の面で大きく変わってきたと思うのですが、子どもたちが本音を言える場をつくるということについて何か手当的なものも入れておく必要があると思います。
- 説明員 平成24年度から子どもが本音で話し合える雰囲気づくりという形で、地域教育懇談会との共催で「いじめ問題を考えるつどい」に変更いたしました。さらにそれを強化する形で、教育委員会主催で「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」にさせていただいたという経緯がございますので、子どもが本音で話し合える雰囲気づくりは、重要だと考えております。
- したがって、実施上の留意事項の（2）ア、イ、ウにつきましては確実に校長から参加者に伝えていただいて、子どもが本音で話し合うことを見守る形で参加していただきたいということを確実に伝えてまいります。
- 委員 具体的な取り組みにつきまして、平成18年度の日黒子どもフォーラム以降、今回の改定では5回目の改定になると思います。その時々状況によって実施方法を変えていくということは、大事なことだと思います。そのときの判断はそのときの判断として

正しかったと認識しておりますけれども、状況は大きく変わってまいりますので、さらに新しい形に進化していくことにより、よい方向に進んでいくと思っております。

直接この会場で意見を言うことは、ないとは思いますが、新しい形態になったことによってどう感じたかということは、どこかできちんと意見集約をしていただいで、今後の参考にさせていただきたいと思っております。

○説明員 実施中は、指導主事がそれぞれの校区の子ども会議に参加し、その状況を把握するとともに、各学校から実施状況の報告をいただきますので、これらを受けて、あわせて地域の方、参加した方からのご意見等も集約し、最終的にまとめて報告していきたいと思っております。

○委員長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第5を議題とします。

(日程第5 就学前ガイダンスの実施について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○委員長 この件についてご質問等ございますか。

○委員 非常に重要な取り組みだと思いますけれども、他区での実施状況はどうでしょうか。私の記憶では、本格実施はまだされていないと思っております。

この就学前ガイダンスの実施は、基本的に就学支援委員会で決定していくと思っておりますけれども、細かい枠組みの中で希望される方が相談をしていくという形になると思っておりますけれども、助言者の専門分野と相談者のミスマッチというような課題が出てくると思っております。そういう課題について、常に評価・検証しながら、年度の途中だったとしても改善すべき点については改善していく柔軟な対応が必要と思っております。

○説明員 他区の実施状況でございますが、平成25年度から27年度までの3カ年、葛飾区教育委員会が、東京都から教育支援委員会設置等による早期支援及び早期連携モデル事業を受託して、実施したと聞いています。

この葛飾区のモデル事業は、葛飾区内全域111園の幼稚園・保育所を対象に、早期教育支援コーディネーターという職員が訪

問し、事業内容の周知や就学後の支援に関する情報提供を行った  
ということです。

また、保護者への支援として、就学を控えた全ての幼児の保護  
者に対して、就学後の教育支援情報を記載したリーフレットを各  
園・各所を通して保護者に配布したということです。そして、子  
どもの発達に不安を感じている保護者に対しましては、区内の子  
ども発達センターや幼児グループを利用している保護者を対象に  
就学に関する相談会を実施しており、実績としましては、個別の  
相談は6件あったと聞いています。

それから、2点目のご質問でございますが、10月からの後半  
で60回の枠は助言者の方々の都合に合わせてということでした。  
私どもも、就学前施設からの希望によっては、各専門分野との日  
程のミスマッチは起こり得るものと考えてございます。今後改善  
してまいりたいと考えています。

○委員 60の枠を設けているということですが、せっかく色々  
な方々の協力・尽力をいただいて、60の枠を受け皿としてつく  
りましたので、この受け皿が有効に活用されないと絵に描いた餅  
になると思います。ぜひ周知徹底とともに、相談する方が、巡回  
訪問も含めてスムーズに進むような努力をぜひしていただきたい  
と思います。

○説明員 60回の枠の受け皿を有効に活用するための周知の徹底でござ  
いますが、今回は就学前施設に対しまして9月の中旬に通知をし  
てまいりますが、10月の上旬までに埋まらない場合には、追加  
でさらに募集などもさせていただきたいと考えています。

○委員長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。

資料配布  
・平成28年度 目黒区立中学校案内  
・平成28年10月行事予定

○委員長 その他何かございますか。

○説明員 7月1日に「児童・生徒の自殺防止の徹底について」を各学校  
長へ発出するとともに、8月18日には「児童・生徒の自殺防止  
にかかわる取り組みについて」を発出いたしまして、夏季休業前  
及び夏季休業中を通しまして、各校へ自他の生命尊重の意識啓発



を行ってきたところです。

さらに、8月23日に各小・中学校へ、夏季終了後の初日の欠席状況について、調査依頼をいたしました。

調査の結果は、調査回答日の翌日、8月26日までに、小学校で2人、中学校で2人、合計4人につきまして家庭と連絡がつかない状況となっておりまして、この4人につきましては、夏季休業前からの長期欠席者として把握しているもので、当該児童・生徒の在籍する学校へは、家庭訪問を行うなど電話連絡によらない安否の確認もするよう指導するとともに、家庭訪問の際に当該児童・生徒の様子をうかがうためにポスティング等をするなど、具体的な対応を継続するよう指導してまいります。

欠席者の合計といたしましては、小学校では278人、中学校では118人おりまして、体調不良によるものや、競技大会への参加、または芸能活動、家族旅行等によるものがございまして、理由は多岐にわたるものでございます。

現在までに、生命にかかわる大きな事件・事故の報告は、昨年同様に受けておりませんが、児童・生徒の小さなサインを見逃すことのないよう、合同校（園）長会又は生活指導主任会などを通して、教員へアンテナを高く張るよう指導してまいります。

#### ○説明員

本日、台風10号が接近しておりますけれども、それに伴いまして、本日出発する自然宿泊体験学習の学校があり、その状況でございまして。

自然宿泊体験教室における台風等による気象警報等への対応については、基本的に前日の夕方5時の時点で確認をしまして決定をしているところでございます。昨日の段階では、行き先も含めて、暴風警報の可能性はかなり低くなりましたので、田道小学校については本日7時半に、下目黒小学校については本日8時45分に興津健康学園に向けて、それぞれ出発をしたところでございます。また今後も、前日の気象情報を確認しまして、今後の対応について進めてまいります。

2校とも午前中に興津に着く前に鋸山のハイキング、あるいは鴨川青年の家でカヤックの体験を予定しておりましたが、これはそれぞれの自治体に大雨の警報がありましたので、午前中は海ほたるは通らずに、京葉道路を使って午前中に興津健康学園に到着させ、体育館や多目的室を活用したプログラムに変更しているところでございます。引き続き、台風が過ぎるまでについては、実

○委員長 施状況等も注視しながら確認してまいります。  
ほかに何かございますか。  
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時30分閉会)